

# 福岡県のソフト対策等について

西日本新聞の記事(令和6年6月27日)より、要配慮者利用施設における避難確保計画の策定率が全国ワースト2位との報道があった。

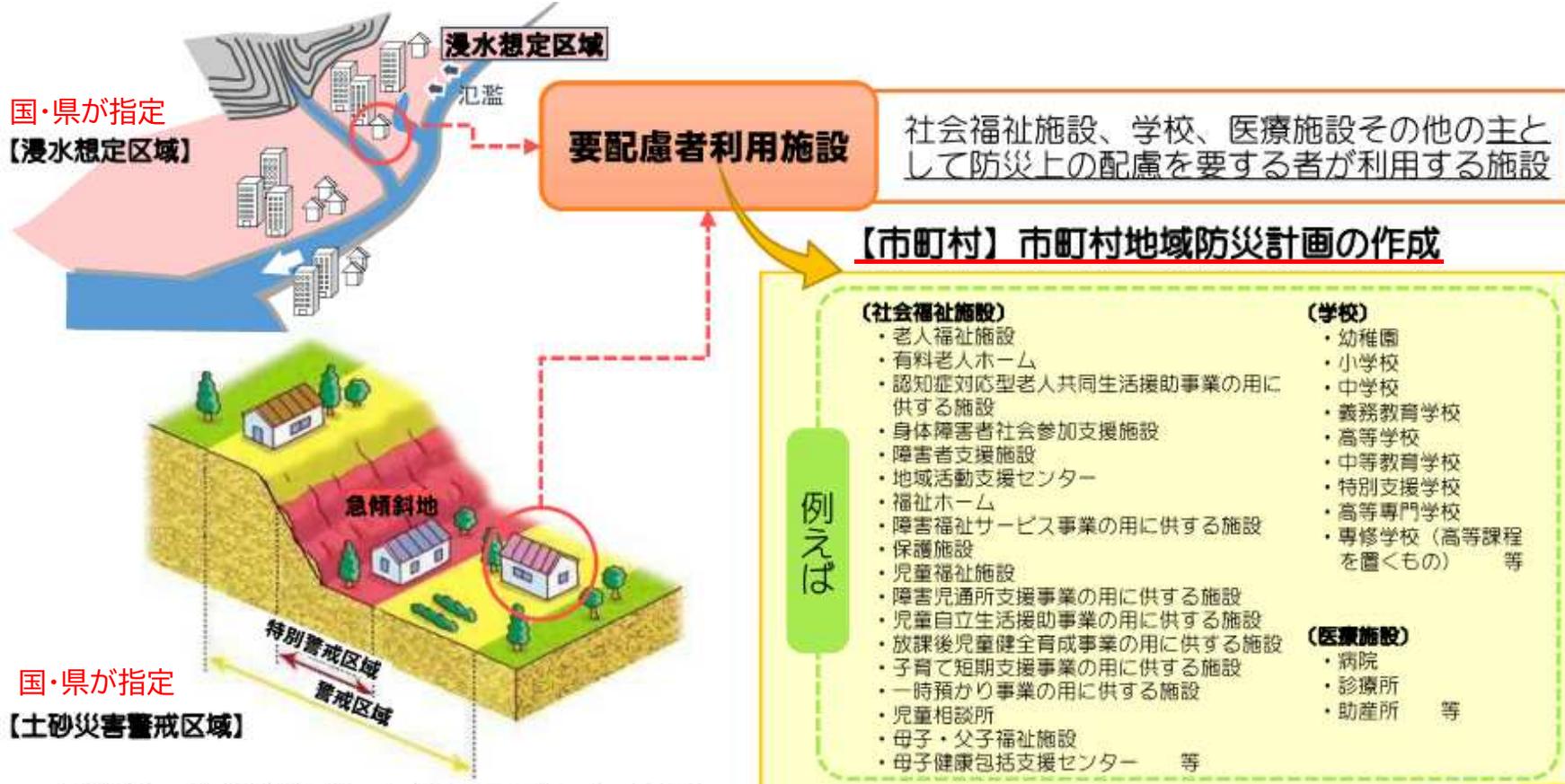
近年、激甚化、頻発化する災害に対し、ソフト対策をより一層推進していかなければならない。

水防法等の改正(R3.7.16)により、要配慮者利用施設における避難確保計画の作成 及び 避難訓練実施の報告 が義務化される

※国土交通省の資料を基に作成、2023年9月現在

県名	対象施設	避難計画策定率(%)
福岡	5056	60.7
佐賀	1705	88.0
長崎	764	71.2
熊本	2738	96.7
大分	1621	99.0
宮崎	1884	93.1
鹿児島	1543	78.6
九州	15311	80.6
全国	122314	87.1

出典:西日本新聞\_2024/6/27



➢ 地域全体の警戒避難体制の充実を図るためにも、都道府県はこれら区域の指定、市町村は地域防災計画への位置付けについて、確実に進めていくことが重要です。

これら施設の名称及び所在地

出典:国土交通省ホームページ

福岡・前原・那珂

令和6年度公開 危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ

	福岡	前原	那珂	京築	行橋	計
危機管理型水位計	0	0	2	3	1	6
簡易型河川監視カメラ	12	7	5	9	4	37

京築・豊前

危機管理型水位計	県土名	水系名	河川名	設置箇所	設置市町村
	京築	城井川	小山田川	野正橋	築上町
	京築	城井川	真如寺川	坂田橋	築上町
	京築	城井川	岩丸川	船田橋	築上町
	行橋	今川	喜多良川	松本橋	みやこ町

管理型河川監視カメラ	県土名	水系名	河川名	設置箇所	設置市町村
	京築	城井川	小山田川	野正橋	築上町
	京築	城井川	真如寺川	坂田橋	築上町
	京築	城井川	岩丸川	船田橋	築上町
	京築	山国川	黒川	新黒川橋	上毛町
	京築	山国川	友枝川	二の瀬橋	上毛町
	京築	岩岳川	岩岳川	梶屋橋	豊前市
	京築	城井川	岩丸川	引金橋	築上町
	京築	角田川	角田川	馬場橋	豊前市
	京築	佐井川	佐井川	佐井川橋	吉富町
	行橋	今川	喜多良川	松本橋	みやこ町
	行橋	祓川	祓川	徳永	みやこ町
	行橋	江尻川	江尻川	西川橋	行橋市
	行橋	今川	高屋川	桜橋	みやこ町

危機管理型水位計	県土名	水系名	河川名	設置箇所	設置市町村
	那珂	御笠川	諸岡川	板付新橋	福岡市博多区
	那珂	御笠川	鷺田川	市ノ上橋	太宰府市

管理型河川監視カメラ	県土名	水系名	河川名	設置箇所	設置市町村
	福岡	御笠川	御笠川	東大橋	福岡市
	福岡	室見川	金屑川	西ノ坪橋	福岡市早良区
	福岡	多々良川	井野川	小出ヶ浦橋	宇美町
	福岡	名柄川	名柄川	石丸橋	福岡市西区
	福岡	十郎川	十郎川	平原橋	福岡市西区
	福岡	大根川	谷山川	川原橋	古賀市
	福岡	室見川	椎原川	原田橋	福岡市早良区
	福岡	唐の原川	唐の原川	社田橋	福岡市東区
	福岡	湊川	湊川	野入橋	新宮町
	福岡	多々良川	久原川	久保橋	久山町
	福岡	多々良川	須恵川	扇橋	粕屋町
	福岡	多々良川	須恵川	古宮橋	須恵町
	前原	一貴山川	一貴山川	小西橋	糸島市
	前原	瑞梅寺川	周船寺川	周船寺駅前橋	福岡市西区
	前原	雷山川	長野川	新蛇石橋	糸島市
	前原	加茂川	加茂川	加茂川橋	糸島市
	前原	桜井川	桜井川	沖田橋	糸島市
	前原	雷山川	初川	新久保田橋	糸島市
	前原	瑞梅寺川	川原川	天神橋	糸島市
那珂	御笠川	諸岡川	板付新橋	福岡市博多区	
那珂	御笠川	鷺田川	市ノ上橋	太宰府市	
那珂	筑後川	宝満川	御笠橋	筑紫野市	
那珂	筑後川	山口川	針摺東	筑紫野市	
那珂	筑後川	宝珠川	原田橋	筑紫野市	

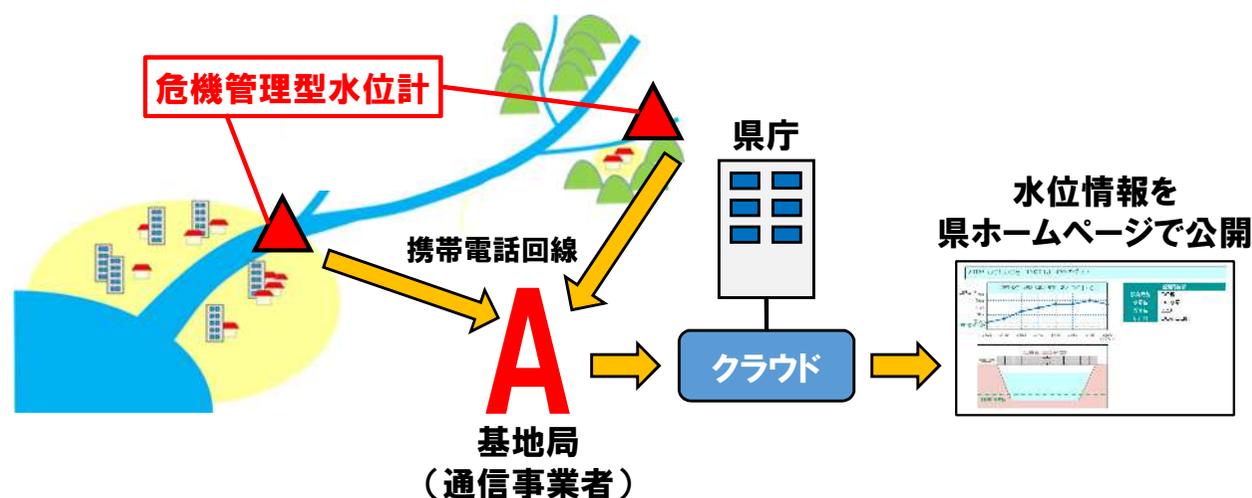
福岡県では、危機管理型水位計の設置を進めてきました。  
危機管理型水位計の水位情報は、県のホームページで公開し、避難判断に資する情報として市町村や住民へ提供しています。

## ◆危機管理型水位計とは・・・ 洪水時にのみ河川の水位を観測する低コストの水位計

### <特徴>

- ・あらかじめ設定した観測開始水位を超過した場合に、水位の観測を行う
- ・太陽電池で5年以上稼働
- ・省スペースで、橋梁等への設置が可能
- ・初期コストが安価（※水位計本体費用は100万円／台程度）
- ・維持管理コストが安価（※洪水時のみに水位を観測、携帯電話回線を活用）

### <水位情報の伝送イメージ>



危機管理型水位計の設置事例  
桂川(朝倉市内)

福岡県では、簡易型河川監視カメラの設置を進めてきました。  
簡易型河川監視カメラの画像情報は、県のホームページで公開し、避難判断に資する情報として市町村や住民へ提供しています。

### ◆簡易型河川監視カメラとは・・・ 河川画像で洪水時の切迫感を伝える低コストのカメラ

#### <特徴>

- ・屋外に容易に設置できる。
- ・無線式の場合は、電源・通信ケーブルの確保不要(無線、太陽電池等)
- ・機能を限定しコストを低減
  - ズームや首振り機能は不可
  - 機器本体価格は、100万円/台程度

#### 簡易河川監視カメラ設置(例)



#### 福岡県総合防災情報に 配信される簡易カメラ画像

観測局情報	
観測所名	下道添橋
所在地	久留米市東合川
河川名	下弓削川



下弓削川下道添橋(久留米市東合川町)

○ テレビやラジオ、インターネットなど、様々なところから防災情報を集めることができます。  
 ○ 日頃から、防災情報の入手方法を確認し、災害時の避難行動などに活用しましょう。

## 福岡県総合防災情報

河川の水位、土砂災害危険度、道路の通行規制などの防災に関する情報を確認できます。

福岡県総合防災情報



PC版



スマホ版



## ふくおか防災ナビ・まもるくん 防災メール・まもるくん

県内の河川の水位情報、気象情報、その他様々な防災情報をお知らせします。



利用  
無料

簡単  
操作

【福岡県防災アプリ】  
 ふくおか防災ナビ・まもるくん  
[https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/lp/app\\_mamorukun/](https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/lp/app_mamorukun/)

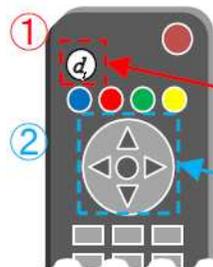
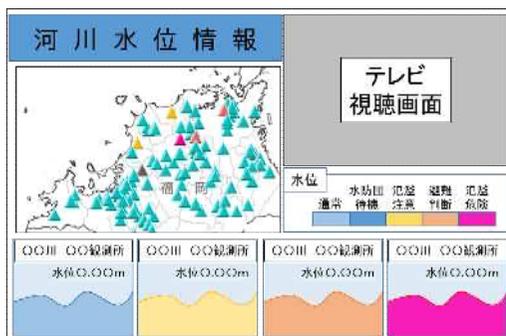


∥ 防災情報は生活必需品！ぜひ登録を！ ∥



## 地デジの水位・雨量情報

テレビの地上デジタル放送でも、河川水位や雨量の情報を確認できます。



① dボタン

②「河川水位・雨量」を選択すると、河川の水位や雨量の情報を表示できます。

### <その他の主な防災情報>

- ・福岡県防災ホームページ  
<https://www.bousai.pref.fukuoka.jp/>
- ・気象庁ホームページ  
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- ・川の防災情報(国土交通省)  
<https://www.river.go.jp/>
- ・ハザードマップポータルサイト(国土交通省)  
<https://disaportal.gsi.go.jp/>
- ・浸水ナビ(国道交通省)  
<https://suiboumap.gsi.go.jp/>

①「福岡県総合防災情報」にアクセス

福岡県総合防災情報

<http://doboku-bousai.pref.fukuoka.lg.jp/gis/info/top/menu>

QRコード



②トップページの地図情報(GIS)をクリック



メニュー

- トップページ
- 地図情報 (GIS) クリック**
- 防災気象情報
  - 気象警報・注意報
  - 沿岸津波情報
- レーダ雨量情報
  - レーダ雨量 (気象レーダ)
  - レーダ雨量 (CXバンドレーダ)
- 河川情報
  - 雨量情報
  - 水位情報
  - ダム情報
  - 河川カメラ
  - 洪水予報

防災気象情報 - 気象警報・注意報



③メニューから表示情報をクリック  
→表示情報一覧から浸水想定区域にチェック

表示情報 **クリック**

表示情報

- 浸水想定区域
- 河川流域 浸水想定区域
- 国土数値情報 浸水想定区域

**チェック**

④地図上の任意の指定地点をクリック  
→指定地点の浸水深が表示できます。

地点を **クリック**

浸水深:1.60m

凡例 閉じる

河川流域 浸水想定区域

- 0.1m以上~0.5m未満
- 0.5m以上~3.0m未満
- 3.0m以上~5.0m未満
- 5.0m以上~10.0m未満
- 10.0m以上

# 4. 河川水位到達情報ホットラインについて

## ホットラインとは・・・

- ・水防地方本部長(事務所長・支所長)が市町村長等へ、直接、電話で河川の水位情報を伝達
- ・ホットラインの対象となる河川は、県が指定した水位周知河川(41河川)

### ①下記の基準水位に到達

【氾濫危険水位】(ホットライン第二報)  
 ・市町村長の避難指示の発令判断の目安  
 ・住民の避難判断の参考になる水位

【避難判断水位】(ホットライン第一報)  
 ・市町村長の高齢者等避難の発令判の目安

➡ ②配信メール(注1)  
 ・水防地方本部長  
 ・市町村長等宛て  
 【自動送信】

➡ ③ホットライン【メール配信に加えて】  
 ・水防地方本部長から市町村長等へ電話連絡し、避難指示等の目安となる水位に達していることを直接伝達(水位に応じて第一報、第二報)

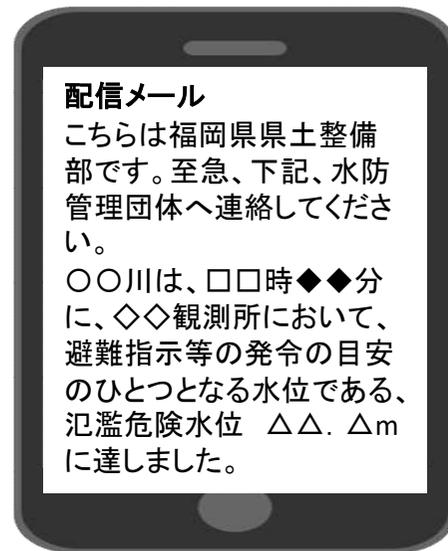
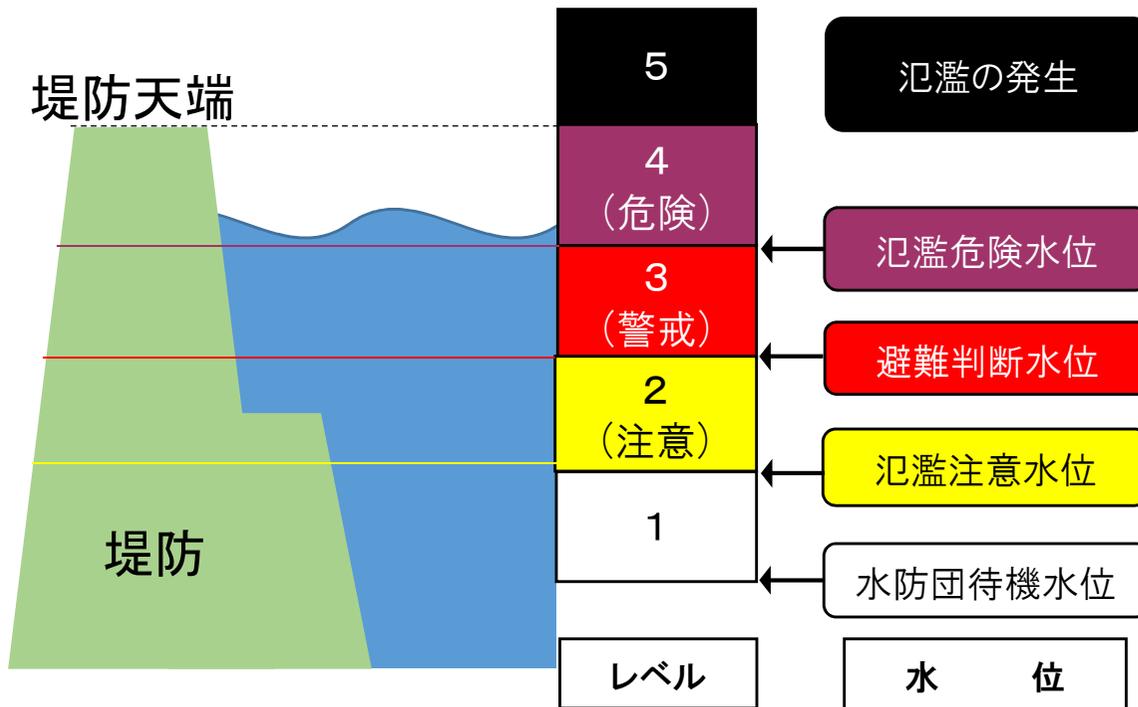
水防地方本部長  
(事務所長・支所長)



市町村長等

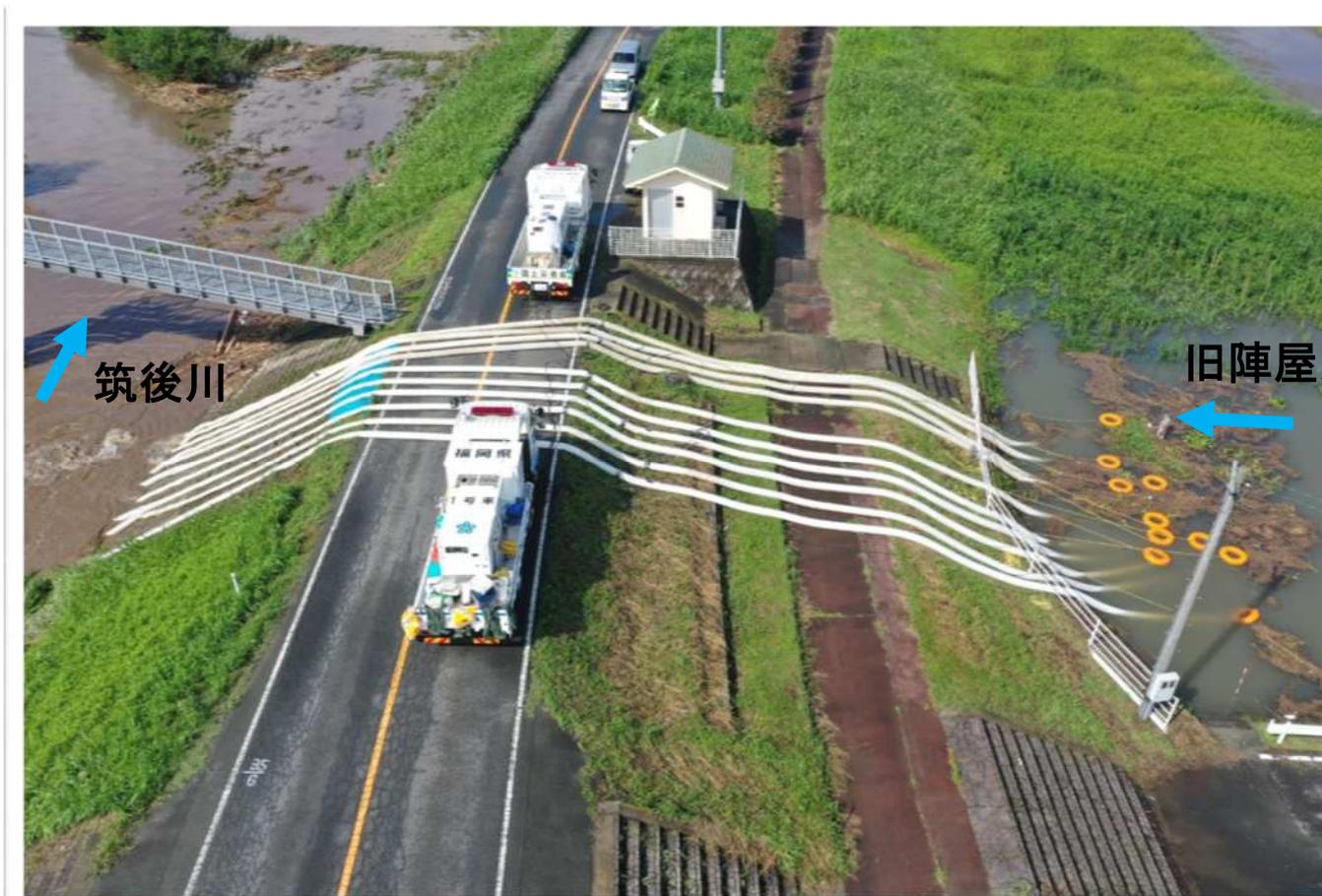


ホットライン  
(直接電話)



(注1) 配信メール(イメージ)  
 例: 氾濫危険水位に到達時

## 陣屋川におけるポンプ車排水状況（令和2年7月8日午前8時）



25mプール  
約300m<sup>3</sup>



排水ポンプ車1台で  
一般的な25mプールの水を  
約10分間でくみ上げます。  
(排水能力 30m<sup>3</sup>/min)

